



秋田県立
能代高校
東京同窓会

会報

No.3
事務局
〒164
東京都中野区中央5-7-1
株友和
TEL. 03-383-2111



校歌

文学博士 藤村 作詩
東京音楽学校教授 岡野貞一作曲

- 一、そのかみはるが城潤く
尽きせぬ流水米代の
水に我等の響はしき
若き生命と讃へり
若き生命と讃へり
- 二、み空にひびく日本海
沖より寄す巨濤の
巖りんぞく勢に
強き力を学びつつ
強き力を学びつつ
- 三、平和の相樽子山
常盤の緑旭日に
映えて我等の麗はしき
清き操をたぐへり
清き操をたぐへり
- 四、薫る高き学び舎の
象徴をわがげむすらに
学びの道を究めりや
奮へ松陵我が健児
奮へ松陵我が健児

能代高校東京同窓会のあゆみ

年 度	総 会	出 席	案内状 発 送	招 待	あ ゆ み
32					後藤氏など有志の方々が、東京支部の形で活動始める
41					この年の総会がきっかけとなり、毎年総会を開催し、同窓生の親睦を図ろうと決定された
48					斬新なる理想に燃えた有志が、会の発展のため、テコ入れを始める
50					東京在住の同窓生は、卒業生のための宿泊所などを作らなければと、革新的な意見が出る
51					○役員改選 ●名誉支部長腰山(前支部長) ●支部長板倉(前副支部長) ●副支部長塚本、柳谷 ○組織が固まる
52	10/8	71		4	
53	10/13	78	400		○会則一部改正 ○茗蹊会館に感謝状贈呈
54	10/21	62	500		○名簿作成
55	9/27	56		4	○8月末現在、名簿登録者425名
56	10/3	85	445	5	能代高校東京同窓会と改称 ○役員改選 ●名誉会長腰山 ●会長板倉 ●副会長後藤、吉田、河田、相沢、栗原、太田、高谷 ●会計幹事村井、八柳 ●事務局小林
57	10/2	93	467	7	
58	10/1	88	502	5	○名簿作成 ○役員改選
59	10/6	76	565	5	
60	10/18	100	600	6	○役員改選
61	10/3	124	656	4	○山田敬三氏講演 ○能代北高、能代工高同窓生を来賓として招待
62	10/2		960		○役員改選 ○会報第1号発行
63	10/7	121		15	○斉藤忠生氏講演 ○名簿作成 ○会報第2号発行
平成 1	10/6	203	1338	15	○役員改選 ○山田久志氏講演 ○会報第3号発行

ふるさとと脳幹

旧制3期 能代高校東京同窓会会長

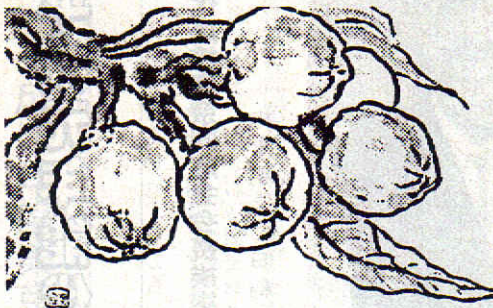
板倉 創造

飛行機を始めとする交通機関のめざましい発達で、「ふるさととは遠くにありて思うもの」と、青春時代に愛唱した名品も、物理的にはとても実感しがたくなつてしまった。これは、科学技術と物質文明を高度に活用してきた日本人の英知の一端であり、思えばありがたい時代である。おかげで、今や日本は史上空前の経済的繁栄を迎えていると言う。それもこれも、多くの人たちがこの国の人よりも勤勉に、知恵を絞り続けた結果であろう。考えてみれば、ふるさとを遠く離れ上京したわれわれも、常に前頭葉をフルに駆使する立場に自らを追い込んで来たようである。そしてそれが、誰の目にも疑いのない美質であり、生きがいでもあった。

しかし、日本の産業構造は今怒濤の勢いで、メーカー型からサービス型へと移行している。知識と経験を活かして、目標をいち早く達成し課題をこなすだけでは足りない時代に入ろうとしているのではないだろうか。冷静な理知の背後に、暖かい情意が必要な時代になりつつある。脳の中で知識や経験が蓄積され、随時活用する役割を担うのがおおむね前頭葉だと言う。いかにこの部分に多くの知識を蓄え、引き出す技術を詰め込むか。これが、現在もなお至上のものとなされ、幼い子供の教育の現場では、これしかないかの観を呈している。しかし、いくら前頭葉を鍛えても、人間味や思いやりを育むことにはならない。

大脳の裏にひっそりと身を隠す「脳幹」が、人間らしさを司る部分だとされている。そして、この脳幹から発せられる情意を土台にした前頭葉の働きこそ、これからの社会に求められる頭脳であると言えよう。つまり、脳幹を鍛える時代と言つてもいい。

豊かな人間味や暖かい思いやりの原点は、やはり無邪気に過ごしたふるさとにある。第一線のストレスに身をすり減らした時、ふるさとの山・河の美しさをふと思ひ、ふるさとの祭りの思い出にひたりながら脳幹を鍛えることこそ、これから最もナウい生き方と言えるのではなからうか。



平成元年能代高校東京同窓会総会開催

10月6日 午後5時
於・茗蹊会館

第一部 講演会
第二部 総会
第三部 懇親会

能代高校東京同窓会会長挨拶

板倉創造 旧制3期



代高校という枠を越えて、能代全体を包括するようなスケールに発展していると考えていいと思います。卒業生も我々バンカラ中学生だけの時代と違いました、今は女性の卒業生も多く、かつその方たちにも気兼ねなく大勢参加していただいているというのも、この会がすばらしい会である証と自画自賛するしだいです。

今日は講演会講師として新制19期卒、昨年まで阪急ブレイブスで活躍された、現在NHKで解説をなさっている山田久志さんをお呼びしております。この機会を利用して、ひとつゆつくりと旧交を暖めていただきたいと思います。

簡単ではありますが、挨拶にかえさせていただきます。

事務局長報告

小林肇 旧制19期

みなさんお晩です。公私とも忙しい中を多数の方においでいただきまして、本当にありがとうございます。



毎年毎年、この会もみなさんのご協力を得て、参加者も着実に増えてまいりました。今回は二百三名の参加となっております。

本来ならば、ここで山田久志さんの講演があるわけですが、交通渋滞で遅れておりますので、総会を先に行わせていただきます。

本同窓会は、今年度役員改選の年にあたっております。従ってここで役員改選の議事を進行させるところですが、先日幹事会で役員改選の協議をいたしました結果、全役員留任と決議されました。よって今回は略式ながら、この報告をもって承認していただきたいと思っております。拍手をもってお願いいたします。

では全役員が今年を含めまして2年留任で努めさせていただきます。

この会も昭和51年に新しいかたちで発足して以来、13回目を迎えます。会の新鮮さを保つていくためには、やはり役員改選が必要かと思えます。そこで来期からは新しい若手役員を選出し、新たな同窓会としてより発展させていきたいと考えております。今回の役員留任は、若手役員の養育期間と考えて、みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、総会を開催するにあたって、同窓会名簿から拾い上げたデータを報告させていただきます。現在名簿には千三百三十八名載っております。今回住所変更などで戻ってきた方は64名と非常に少ない数であり、出欠の連絡をいただきましたのが四百七十五名でございます。これもまたみなさんのご協力を得て、ご返事をいただいたということになります。このうち百六十四名の方が旧制で、あとは新制の方々です。いかに会員も若返りつつあるかということ

がうかがえるかと思ひます。以上が会の現状です。

昨年は会の後、会報を出しました。今回も出す予定でおります。これは出席されているみなさんはもちろんのこと出席できなかった会員にもお送りいたします。総会の模様を中心に、郷土の村役場あるいは市町村の協力を得て、「市町村便り」も載せております。これも経費・予算が許す限り充実したものを発行していきたいと考えております。また、会のあり方についてもみなさんのご意見をいただきたいと思ひます。次回会報を送る際、アンケート用紙を同封いたしますので、お手数ですがよろしくお願ひいたします。何分ご協力のお願ひばかりですが、今回のように大勢の方々のご参加をいただけたことは、事務局として非常にうれしく思っております。

申し遅れましたが、同窓会本部から能代高校同窓会会旗を贈呈いただいております。のちほど贈呈式をさせていただきます。

本日はどうもありがとうございます。

●来賓祝辞

能代高校同窓会会長 神馬恒成氏



能代高校同窓会長の神馬でございます。私、これで3年連続でこの会に出席させていただいたことになりました。ただ今、事務局長の小林さんの報告によりますと、東京同窓会も千三百名を越す会となったそうでございます。また、本日の総会には二百名以上の会員が出席されて、盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

学校の近況は、後ほど校長先生からお話があるかと思ひますが、我が校の運動部がいま一歩パツとしなないと、非常に残念にまたみなさんに申し訳ないと思っております。まあその中で、今回の講演者である山田久

志君が県民功労賞と能代市の特別功労賞を授賞されたということが、私どもにとつてうれしいことでございます。

先ほどご紹介がありました同窓会旗のことですが、実は現在の高校生はほとんど帽子をかぶりません。従つて、私どもも能代高校の徽章を目にする機会はずありません。ましてやみなさま方は、我が校の徽章はどうだったかなあと思ひ出すのもひと苦労かと思ひます。そこで、年一回の総会の折りにでもご覧になつて、なるほど我が校の徽章はこうだったと思ひだしていただき、東京同窓会が結集し、一層の発展につながりますようお願いしているしだいでございます。

本日の総会は、本当におめでとございました。

加賀正隆 能代高校校長挨拶

遅くなりまして、駆けつけて参りました。昨年もお世話になりましたけれど、今日みなさんのお集まりに來るのが、実は気が重かつたわけ



です。と申しますのは、昨年たしか文武両道の学校にしていくなには、部活の中でも野球部を強くするということとお約束したのですが、今年は残念にもいい結果を出すことができませんでした。ただその後は、野球部だけではなく、学校の中でそれぞれの形で整備はしております。

いわゆる樽子山の森を現在の高瑞の田んぼのまん中に、立派に移し替える。ひとつずつ段階を経て森にする整備をしているところです。具体的には体育館がもうすぐ完成します。

そして70周年に向けて、地盤を整備している、そういう課程の中にあります。どうか、今後ともみなさま方の心のふるさとである母校のために、いまひとつの応援をお願いいたします。今日はありがとうございます。

平成二年度東京同窓会総会のお知らせ

10月5日(金)5時開催予定 於・茗蹊会館

総会是一部二部三部と区切られておりますが、時間を気にせずお気軽にご出席下さい。

秋田県立能代高等学校
東京同窓会

●プロフィール●

能代市長崎出身。能代高校卒業後富士鉄釜石（現・新日本製鉄釜石）を経て、昭和44年ドラフト一位で阪急ブレーブスに入団。

最多勝利投手3回、勝率一位4回、防御率一位2回、51年から連続3年MVPなど数々のタイトルに輝き、チームを3年連続日本一にする立役者となった。

昨年10月23日、パリーグ最終戦を完投勝利で有終の美を飾り引退。史上7位の通算284勝を記録。ユニフォームを脱いだあとは、NHK解説者として現在活躍。

山田でございます。みなさん遅くなって申し訳ありません。私は東京の住人ではありませんので、車が渋滞してどのくらいかかるか、計算ができませんでした。ほんとうに申し訳ありません。

今日この話をいただいて、ここにこうしてやって来たわけですが、まア野球の話といいますが、最近の話題では、今日、巨人が優勝を決めるのではないかということですね。すでに試合は始まっておりませんが、まだみなさんは今日の先発投手が誰なのかわらないと思います。巨人は左腕の宮本。大洋の方は遠藤です。もう少し待ちましたら、また情報が入るかと思えます。まア本当は横浜球場の方へ駆けつけなければならぬのですが、今日はこっちの方が大事だろうと、そういうことでとるものもとりあえず、走ってまいりました。

それにもうひとつ、私が出ましたオリックスがまたもや首位に立ちまして、非常にいい傾向にあります。いずれ日本シリーズで、巨人とオリックスが対戦ということにでもなれば、はたして私は……もともと巨人ファンですので、ど

ちらを応援したらいいか困ってしまいます。とにかく私の古巣であるオリックスには勝ってもらいたい。これが本音でございます。

今日もいろいろゲームがありましたが、わたしがユニフォームを脱ぎまして半年間、こうしていろいろ勉強してきました。野球っていうのは、ユニフォームを着て、やっていた頃よりも、すばらしいものなんだナーと感ずるようになりました。

ただひとつ残念なことは、みなさんのご声援にもかかわらず、とうとう300勝には足らなかったということなんです。それまではなんとしてもガンバレと激励をいただきました。ほんと私もまだまだやりました。でもどうしても体力的な問題また金銭的な問題がありまして、これ以上年俸が下がったら、ちよつと生活に困るんじゃないかと思ひまして、まア勇退したわけです。

今こうやって、いろいろな面から野球を勉強しています。野球だけでなく、いろいろなスポーツを見ているんですけど、例えばゴルフやテニス、アメリカン・フットボールなんかも見えています。そう

いろいろなスポーツを見ていると、野球との違いは確かにありますね。野球というのは団体競技で、ゴルフとはまるっきり違うということを知りました。

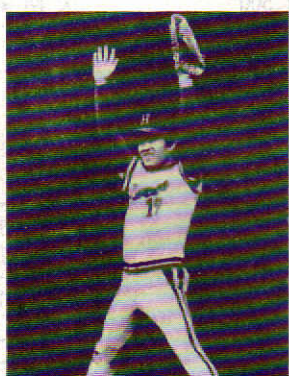
まず野球というと、みなさんは今日、巨人が優勝を決めると思っているでしょう。確かに今年の巨人は強い。では去年の巨人の戦力と今年の戦力とはどこが違うのか、ときかかれても何も変わってないように思うんです。これが団体競技のおもしろいところでもあり怖いところです。

団体競技というのは、指導者によって、こんなに違うんですね。選手として対戦して王さんほど恐い人はいなかった。始めて対戦した日本シリーズで、あと一歩というところまで巨人を追い込んだ最終回、王さんのホームラン一発でものの見事に逆転されました。いま思い出しても身震いするような気がします。あの一発で山田の中にその後の山田が芽生えたように思います。

しかし、私は指導者としての王さんについて、とやかく言うつもりは全然ないんです。けど指導者によってかなり野球の考え方が、

野球の傾向が違ってくるんじゃないかと思うことも事実です。

みなさんはほとんどが会社勤めの方だと思うんですが、野球も会社と一緒に、その中の一人ひとりとはひとつひとつの機械みたいなものです。試合の中でこの選手は、こういう働きをすればいい。監督であれば、そのような選手に働きやすい現場を作ってあげればいい、というカンタンなことなんです。



そのカンタンなことが非常に難しい。ただそこに選手と監督のコミユニケーションといえますか、意志の疎通というものが無かったら、いくら強いチームでも、いくら力のある選手がいても、なかなかいい活躍はできないし、チームとしてもいい結果は残せないというのを今年勉強しました。

私はオリックスの出身ですのので、どうしてもオリックスの話に

なりますが、なぜ今オリックスがトップにいるかというと、これはやはり山田の引退が一番大きかったんじゃないかと思うんです。

もちろん門田選手の加入も大きいし、酒井投手の新人離れした活躍も大きかった。しかし一番の功労者は山田ではないかと思うんです。5回2アウト、山田だったら、なんとかもちこたえるだろうと、監督は考える。あるいはもう限界だと見ても、後一人投げさせれば1勝プレゼントできる、と思う監督に迷いが出る。勝負に迷いは禁物です。もう限界だと思ったときには、義理人情おかまいなしに、スパツと交代させる。これがほとんど勝利につながるわけです。マウンドにいるのが山田では、監督もなかなかスパツと交代というわけにはいかない。その難しい山田が引退して、監督も非常にやりやすくなった。それが今のオリックスの快進撃につながっているのではないかと思うのです。

私はいままでみなさんに、現役時代非常にお世話になった分を、これから1年、2年、3年と勉強していつて、……3年勉強するのはちよつと長いようですが、まあ来

年もまた勉強しまして、またユニフォームを着てみたいという気持ちがあるんです。それは監督とかコーチといった立場ではなく、今自分が勉強していることを今度は野球界に返す番だと思っんです。

野球界はもちろん、能代高校の人たちもそうですが、私はいろんな指導者に恵まれてここまでできました。ほんとうにいろんな人に手助けしてもらいました。野球に関してはガンバリましたけど、いろんな人の手助けがあつて、ここまでできたように思います。今度は私が返す番だと思っんです。そういうことで、これからますます勉強して野球界に恩返ししたいと思っんです。

それとみなさんにいただいた声援を忘れることなく、これからも精進していききたいと思っんです。それからテレビだけでなく、能代でも、もし私の力で何かできることがありますしたら、ぜひ呼んで下さい。私のできる範囲で協力させていたきたいと思います。

どうぞみなさん、これからも山田をよろしく願います。そしてみなさんのますますの発展とご健康をお祈りしています。本日はどうもありがとうございます。

能代高校東京同窓会

●収支決算報告書

自昭和63年9月1日～至平成元年8月31日

収 入		支 出	
前期繰越分	687,554	総会会場費支払	463,200
寄付金	546,000	総会諸経費	237,040
総会会費	615,000	印刷・広告代	960,300
普通預金利息	3,264	同総会寄付	16,000
名簿売上	1,693,190	事務経費	71,790
名簿広告料	326,500	郵送料	566,190
恩師招待寄金	151,500	次期繰越金	1,708,488
合 計	4,023,008	合 計	4,023,008

上記の通り相違なき事を報告申し上げます。

平成元年10月5日
会計監査 八柳昭義

●63年度発行会員名簿代納入状況

平成2年2月10日現在

入金者数			未納者数			総 計
名簿	広告	合計	名簿	広告	合計	
307	61	368	338	1	339	707

入金金額

	郵便振替	現金	合 計
名簿代	975,500	163,100	1,138,600
広告料	647,500	441,500	1,089,000
合 計	1,623,000	604,600	2,227,600
手数料	-17,020		
入 金 額	1,605,980	604,600	2,210,580

未納金額

名簿代	338	×	3,500	=	1,183,000
広告料	1	×	15,000	=	15,000
合 計	339				1,198,000

名簿代入金状況は以上の通りです。ご送金下さいました方々には、ご協力感謝致します。

名簿代は総会開催費用、恩師招待寄金、その他会報の発行など会の運営費用として活用します。会の発展のために会員皆様にご協力をお願いしたのですが、まだ338名分、約118万円が未納となっており、代金未納額が多いため、会の運営にも支障をきたしております。

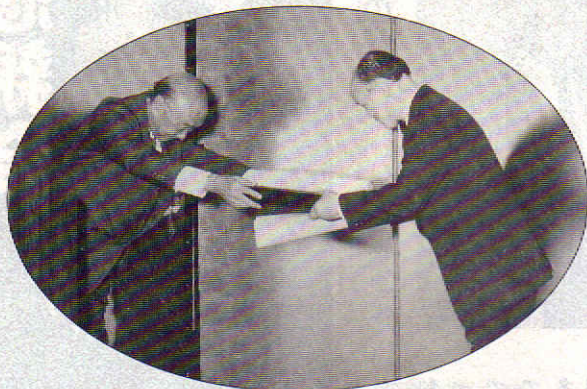
未納の方々にはぜひご送金下さるようお願い致します。

事務局 八柳昭義

●アンケートご協力をお願い●

今回の東京同窓会では200名を越える同窓生が集まり、なごやかな会が開催できたことを喜んでおります。今後もより多くの出席者が集まる会にしていきたいと思ひ、アンケートのご協力をお願いいたします。

同封のアンケートはがきに、期名あるいは卒業年度を書き、質問にそってお答え下さい。3月31日頃までに投函下されれば幸いです。なお、氏名は不要です。



茗溪会館へ感謝をこめて

毎年、東京同窓会の開催を茗溪会館で行っています。ここに多年にわたる過大なるご尽力を感謝して、感謝状と記念品を贈ります。

母校の徽章を胸に

「年に一回、同窓会の折にでも目に触れてもらえば……」と神馬同窓会会長より、板倉東京同窓会会長に、同窓会会旗が贈呈された。



ひと

新たな一歩へチャレンジ

鈴木 裕美子選手

あのキラキラ輝く笑顔を記憶している人も多いことと思う。



自転車競技の鈴木裕美子選手である。昨年ソウル・オリンピック

の出場切符を賭けた全日本選手権で、スケートの橋本聖子選手に負けてしまった。あの試合をテレビで応援された方もさぞ残念に思ったにちがいない。ましてや母校の卒業生となると力が入るのも当然である。

鈴木さんは能代高校を54年卒業の31期生。在学時はスキートの選手として活躍したそうだが、日本大学時代に自転車に転向。

その頃よりメキメキ実力をつけ、女子の自転車レーシングチームに力を入れているパルコに入社。その後も順調に銀輪の女王の座を制していた。

ソウル出場に破れたとき、負けたときが始まりだった」と、この日すでに次の目標を決めたという。

今年5月の全日本選手権大会で、千メートル・タイムトライアル、スプリントの2冠を得、女子としては初めてフランス・リヨンで行われた世界選手権に参加。

そして今後は、誰もが願うように次回のバルセロナ・オリンピックに向けて、彼女の可能性を一層、磨いてほしいものである。

懇親会



乾杯の音頭

藤田成孝



旧制1期の藤田でございます。もう77歳、喜寿を迎えようとしてるところでございます。

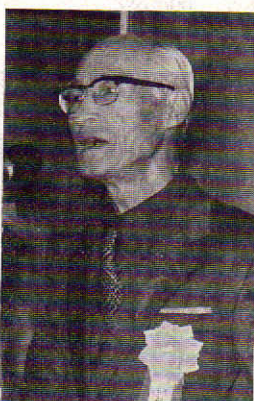
今日この盛大な会にお招きいただき、ありがとうございます。みなさんもこれから大いに、母校またみなさんの発展のために頑張っていたきたいと思えます。能代高校の名誉のために乾杯します。乾杯!

高橋直三先生

思いがけなく東京同窓会のみなさんにお招きいただき、ありがとうございます。

ございました。厚くお礼申し上げます。

私が能代高校に赴任したのは、昭和21年の4月でして、能代高校を去ったのが35年の3月でございます。ですから14年もいたことになるわけです。在職中の能代高校には非常に多くの思い出がございます。



とりわけ赴任した当初の終戦後の校舎の状態は思い出深いものです。そのころの校舎は、おおざっぱに申し上げますと、ガラス窓にガラスがほとんど入っていないかったというところ、教室や廊下の板がところどころ穴があいていた、それから暖房がほとんどとられていなかったなどです。それじゃどういふふうには寒さを防

いでいたかという、例えば職員室には大きな囲炉裏がありまして、それに手あたりしだい材木をくべて燃やしたんです。ですから校舎中煙でいっぱい、目に沁みたりして、想像を絶するような校舎の状態でした。

それにさらに困ったことには、教科書はいちおうありましたが、ちやうど郷土の北羽新報の大ききで、いわゆるタブロイド版に印刷されており、それをナイフで切って4つに折って使っていたというわけなんです。

私は理科の担当でしたが、試験管1本、試薬ひとつなかつた状態で、いま考えとすごい教育をした、前代未聞だと思っております。現物教育であるべき理科に物がなくて、ほんとうに困ったということも今でもハッキリ思い出すことができます。

にもかかわらず、その当時に校された方々が今ここにもおられますが、苦労なかつたが非常に立派に成長なされて、堂々たる地位についておられるということは、いかに個々努力されたかということを物語っていると、今感じているところであります。

本当に、何があつても長く勤めた学校というものは、いつまでも忘れることができせん。野球が勝った、負けたと今でも関心をもつて、能代高校に愛着を感じております。もちろんこのことは今後も続くと思えますけれど、ひとつ言わせてもらえば、もうちよつとスポーツでも能代高校の名声を高らかに上げてほしいと思

つているしだいです。

柴田重行先生



柴田でございます。本日ご招待いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。私の在職期間は、さきほど高橋先生が言われましたすぐその後、25年から40年までの15年間能代高校にお世話になりました。

実は、私も能代高校の同窓生の一入でございます。昭和15年能代中学に入學しまして、20年卒業です。そういう意味からも、本日出席いただいている方々の先輩として、後輩として、いろいろ熱い思いがします。

私の中学時代は、能代中学ができた当初の校舎に入學しました。教わりました先生方のなかには、もと同窓会会長の吉武栄一さんがおられました。それから先輩の方々にはお分りかかと思いますが、剣道の武衛先生、あるいは体操の太田口先生などに、私はずいぶんしほられた者の一入でございます。

19年はあの懐かしい校舎が樽子山から消えた大火の年でした。私が奉職しました25年の頃は、ようやく戦



旧校歌

- 一、そのかみ遠し 数千年
 尽させぬ流れ 米代の
 水に皇国の 新しき
 若き生命を汲みてしが
- 二、み空にうつく 日本海
 沖のり寄する 巨瀾の
 威つんざく 勢いに
 強き力を 学びつつ
 強き力を 学びつつ
- 三、み国の相 樽子山
 かわらぬ縁 松が枝に
 み民我等の 香わしき
 清き操を たぐへつつ
 清き操を たぐへつつ
- 四、明治の帝 みさとしの
 みむねは深し 能代淵
 深きみ恵 身にしめて
 ふるへ我が友 健男児
 ふるへ我が友 健男児